

報告タイトル

ベトナムにおける海外直接投資からの技術スピルオーバー効果について
Technology spillover effects from Foreign Direct Investment in Vietnam

氏名(所属)

レヌチャンニョン (拓殖大学院)
Le Nu Trang Nhung (Graduate School, Takushoku University)

要旨

近年海外直接投資はベトナム経済にとって非常に重要な役割を果たしている。海外直接投資の増加に伴い、ベトナムの GDP や輸出入が拡大されており、GDP に占めるサービスと工業の割合が徐々に増加している。しかし、ベトナムにおける海外直接投資からの技術移転の効果がまだ見えない。本研究では国内企業と外資系企業の技術移転の取引データを用いて、外資系企業の技術移転はベトナム国内企業にどのような影響を与えるかを分析する。

使用されるデータは「年次ベトナム企業調査」と「ベトナム技術と競争力調査」であり、2011-2015年のパネルデータである。まずは企業の全要素生産性を推計して、次は企業の外資系企業と技術移転の有無について技術移転のベトナム国内企業へどのようなスピルオーバー効果があるか推計する。

ベトナムにおいて海外直接投資からのスピルオーバー効果について様々な結果を得た。全体的で見ると、外資系企業とつながっているベトナム国内企業はそうでない企業より生産性の伸び率が高い。また地域別で見ると、ベトナム北部と南部においていずれの地域も外資系企業と取引しているベトナム国内企業の生産性は伸びているが、特に南部のベトナム国内企業の方がよりスピルオーバー効果がある。さらに、産業別で見ると、化学医薬産業と金属産業は外資系企業との取引と全要素生産性の伸びに関して負の相関がある一方、食品・飲料産業、繊維産業、皮革産業、金属業、自動車関連産業は正の相関であると分かる。

前方関連効果と後方関連効果で見ると結果は様々になる。まずは全体的に見ると、ベトナムにおいて海外直接投資からの前方関連効果のみ優位性がある。また、地域で見ると、南部は前方関連効果と後方関連効果の両方の効果が見られる上に、北部や中部より効果が高い。最後に、産業別で見ると、化学医薬産業は FDI からネガティブな前方関連効果と後方関連効果の影響を受けるのに対して皮革業、自動車関連産業は FDI からポジティブな前方関連効果と後方関連効果の影響を受ける。一方で、繊維はポジティブな前方関連効果のみを受けるという推計結果を得た。